■ブラジル：原子力発電所の建設工事、新たな入札を検討

エネルギー情報サイトは 2017 年 3 月 21 日、ブラジル連邦政府は原子力発電所アングラ 3 号機（140.5 万 kW）の建設工事について新たな入札を検討していると報じた。この建設プロジェクトは原子力発電公社 Eletronuclear（国有エレトロブラス傘下）により進められているが、前政権における一連の政治汚職に関する捜査（ラバジャット作戦）により、2015 年に工事が一時中断されている。現時点で、アングラ 3 号の工事進捗率は 60%以上になっているものの、2023 年までの運開は厳しいと見られている。エレトロブラスは工事費について、当初の 100 億レアル（3,600 億円）から 196 億レアル（7,080 億円）に膨れると見ている。